



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	68,821	△2.2	9,739	△1.7	10,012	△6.7	4,203	△35.0
28年3月期第2四半期	70,362	8.2	9,910	2.3	10,727	△0.6	6,467	△0.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 6,759百万円 (68.4%) 28年3月期第2四半期 4,013百万円 (△35.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	72.98	72.94
28年3月期第2四半期	111.85	111.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	182,659	115,858	62.6
28年3月期	179,641	112,754	62.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 114,429百万円 28年3月期 111,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	54.00	—	54.00	108.00
29年3月期	—	54.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	54.00	108.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,200	0.6	19,000	△4.5	20,400	△3.4	10,100	△19.8	175.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 5「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	57,434,200株	28年3月期	57,634,200株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	3,102株	28年3月期	3,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	57,596,885株	28年3月期2Q	57,826,375株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日、以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、新興国経済の減速に加え、英国のEU離脱問題など海外経済の不安定な状況を背景に円高・株安が進行し、企業収益の鈍化や個人消費の停滞感が続くなど、国内景気は足踏み状態で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移しておりますが、カラオケボックス市場では、大手事業者間の競争激化による一部再編の動きがあったものの、緩やかながら増加傾向が継続しております。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大による下支えもあり、市場規模は横ばいで推移しております。

この様ななか、当社グループは、業務用カラオケ事業においては前期に発売した新商品の初期需要が一巡し、カラオケ・飲食店舗事業においては、カラオケルームの既存店売上が期央からは僅かながら回復傾向で推移いたしました。また、「平成28年熊本地震」による一時費用などが発生しております。

以上の結果、当第2四半期の売上高は68,821百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は9,739百万円（同1.7%減）、経常利益は10,012百万円（同6.7%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、為替変動の影響等を受け時価が著しく下落した外国債について、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより4,203百万円（同35.0%減）となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	70,362	68,821	△1,541	△2.2%
営業利益	9,910	9,739	△171	△1.7%
経常利益	10,727	10,012	△714	△6.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,467	4,203	△2,264	△35.0%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（業務用カラオケ）

当事業におきましては、前期発売した新商品「LIVE DAM STADIUM」を中心に引き続き安定収益の強化を目指し、機器賃貸件数の拡大に努めました。その結果、機器賃貸件数及びDAM稼働台数は順調に増加いたしました。また、成長分野として注力しているエルダー市場においては、民間介護施設等での導入に加え、自治体の各種施設等での導入も着実に伸長しております。なお、10月にはナイト市場向け新商品及びエルダー市場向け新商品2機種を発売いたしました。

以上の結果、機器賃貸収入および情報提供料収入は着実に増加したものの、前期新商品効果の減速により、売上高は前年同期比4.9%の減少となりました。利益面におきましては、4月に発生しました「平成28年熊本地震」に伴う復旧支援費用等の増加に加え、営業資産の買取りコストなどの一時費用が増加したことにより、営業利益は前年同期比2.8%の減少となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	35,247	33,521	△1,725	△4.9%
営業利益	7,941	7,721	△219	△2.8%

（カラオケ・飲食店舗）

当事業におけるカラオケルームにおきましては、大手事業者間の競争が激化するなか、引続き既存店の活性化や従業員教育の強化を図り、顧客満足度の向上による収益基盤の強化に努めました。飲食店舗におきましては、ブランド変更等により既存店の強化に努めるほか、新たな需要への対応として、バル業態などの新業態店舗の開発等カラオケルームのリソースを活かした新店出店に努めました。

以上の結果、競争激化や節約志向などの影響はあったものの、既存店が期央より回復傾向で推移したことにより、売上高は前年同期比1.0%の減少となりました。利益面におきましては、コストコントロールの効果もあり前年同期比2.4%の増加となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	27,348	27,083	△265	△1.0%
営業利益	2,757	2,824	67	2.4%

（音楽ソフト）

当事業におきましては、事業環境は依然厳しい状況で推移しておりますが、当社グループが強みとする演歌作品の主力アーティストである「三山ひろし」や「水森かおり」に加え、芸道55周年を迎えた「北島三郎」などの作品が収益に貢献いたしました。

以上の結果、売上高が前年同期比3.8%増加したことにより、営業利益は前年同期比101百万円の改善となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,325	4,490	164	3.8%
営業利益	△24	76	101	-

（その他）

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は不動産賃貸収入やパーキング事業収入等の増加により前年同期比8.3%増加し、営業利益は前年同期比5.8%の増加となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	3,441	3,726	284	8.3%
営業利益	735	778	42	5.8%

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,017百万円増加し、182,659百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、有価証券が6,047百万円及びその他に含まれる前払費用が931百万円それぞれ増加し、現金及び預金が3,553百万円及び受取手形及び売掛金が937百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ賃貸機器が489百万円及び土地が5,185百万円それぞれ増加し、投資有価証券が5,659百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、66,800百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、1年内償還予定の社債が3,500百万円増加しております。

固定負債では、社債が3,500百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,103百万円増加し、115,858百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加4,203百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,112百万円、自己株式の消却による利益剰余金の減少811百万円及びその他有価証券評価差額金の増加2,583百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,179百万円増加し、54,426百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が6,885百万円、減価償却実施額が7,831百万円、投資有価証券評価損が3,305百万円及び法人税等の支払額が3,271百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ2,339百万円増加し、14,811百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が11,859百万円、無形固定資産の取得による支出が1,812百万円及び投資有価証券の売却による収入が6,135百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ6,653百万円減少し、8,667百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が3,111百万円、自己株式の取得による支出が810百万円、長期借入金の返済による支出が1,240百万円及び長期借入れによる収入が1,485百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ530百万円減少し、3,569百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月8日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が228百万円、利益剰余金が228百万円増加しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,478	47,925
受取手形及び売掛金	7,113	6,175
有価証券	1,007	7,055
たな卸資産	6,243	6,784
その他	6,263	7,002
貸倒引当金	△149	△159
流動資産合計	71,956	74,783
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	10,943	11,433
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	19,112	19,065
土地	31,595	36,781
その他（純額）	5,995	7,146
有形固定資産合計	67,646	74,426
無形固定資産		
のれん	1,882	1,663
その他	5,971	5,855
無形固定資産合計	7,853	7,519
投資その他の資産		
投資有価証券	9,997	4,337
敷金及び保証金	14,250	14,542
その他	7,972	7,086
貸倒引当金	△36	△35
投資その他の資産合計	32,184	25,930
固定資産合計	107,684	107,876
資産合計	179,641	182,659

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,048	4,371
短期借入金	4,201	4,384
1年内償還予定の社債	-	3,500
未払法人税等	3,237	2,887
賞与引当金	1,086	1,565
その他	11,145	10,212
流動負債合計	23,718	26,920
固定負債		
社債	10,000	6,500
長期借入金	23,362	23,554
役員退職慰労引当金	1,263	982
退職給付に係る負債	5,398	5,615
その他	3,143	3,227
固定負債合計	43,168	39,879
負債合計	66,886	66,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	98,329	98,838
自己株式	△13	△12
株主資本合計	114,668	115,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,074	509
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	108	△9
退職給付に係る調整累計額	△566	△513
その他の包括利益累計額合計	△3,265	△748
新株予約権	81	132
非支配株主持分	1,270	1,297
純資産合計	112,754	115,858
負債純資産合計	179,641	182,659

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	70,362	68,821
売上原価	43,190	42,237
売上総利益	27,172	26,583
販売費及び一般管理費	17,261	16,844
営業利益	9,910	9,739
営業外収益		
受取利息	411	231
受取協賛金	165	196
その他	586	418
営業外収益合計	1,164	846
営業外費用		
支払利息	170	166
為替差損	50	320
その他	127	85
営業外費用合計	347	573
経常利益	10,727	10,012
特別利益		
固定資産売却益	8	4
固定資産譲受益	-	350
投資有価証券売却益	-	4
特別利益合計	8	360
特別損失		
固定資産処分損	160	148
減損損失	208	24
投資有価証券売却損	-	8
投資有価証券評価損	-	3,305
特別損失合計	368	3,487
税金等調整前四半期純利益	10,367	6,885
法人税、住民税及び事業税	4,233	2,857
法人税等調整額	△367	△214
法人税等合計	3,866	2,642
四半期純利益	6,500	4,242
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,467	4,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,500	4,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,473	2,583
為替換算調整勘定	△59	△118
退職給付に係る調整額	46	52
その他の包括利益合計	△2,486	2,517
四半期包括利益	4,013	6,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,981	6,720
非支配株主に係る四半期包括利益	32	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,367	6,885
減価償却費	7,429	7,831
減損損失	208	24
賞与引当金の増減額(△は減少)	471	478
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,242	△281
受取利息及び受取配当金	△488	△309
支払利息	170	166
為替差損益(△は益)	△5	308
固定資産譲受益	-	△350
投資有価証券売却損益(△は益)	-	4
投資有価証券評価損益(△は益)	-	3,305
固定資産処分損益(△は益)	151	143
売上債権の増減額(△は増加)	963	917
たな卸資産の増減額(△は増加)	583	△584
カラオケ賃貸機器の売上原価振替	83	68
仕入債務の増減額(△は減少)	800	351
未払金の増減額(△は減少)	△1,399	△219
その他	△925	△986
小計	17,167	17,756
利息及び配当金の受取額	525	444
利息の支払額	△171	△118
法人税等の支払額	△5,049	△3,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,472	14,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△417	△367
定期性預金の払戻による収入	56	53
有形固定資産の取得による支出	△10,014	△11,859
有形固定資産の売却による収入	23	12
無形固定資産の取得による支出	△1,700	△1,812
映像使用許諾権の取得による支出	△1,421	△870
投資有価証券の売却による収入	-	6,135
事業譲受による支出	△1,577	-
貸付けによる支出	△299	△171
貸付金の回収による収入	336	274
敷金及び保証金の差入による支出	△365	△333
敷金及び保証金の回収による収入	251	279
その他	△190	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,320	△8,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350	130
長期借入れによる収入	1,460	1,485
長期借入金の返済による支出	△1,285	△1,240
配当金の支払額	△2,901	△3,111
自己株式の取得による支出	△1,700	△810
その他	△23	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,100	△3,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,996	2,179
現金及び現金同等物の期首残高	60,007	52,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,011	54,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	35,247	27,348	4,325	66,921	3,441	70,362	-	70,362
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	7,941	2,757	△24	10,673	735	11,408	△1,498	9,910

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,498百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	33,521	27,083	4,490	65,095	3,726	68,821	-	68,821
セグメント利益 (営業利益)	7,721	2,824	76	10,622	778	11,400	△1,661	9,739

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,661百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。